

# News Release

## 夏に多発！扇風機の経年劣化やエアコンの電源コードのねじり接続で火災のおそれ

～使用前に扇風機の動作やエアコンの電源コードを必ず確認しましょう～

これから扇風機<sup>\*1</sup>及びエアコン<sup>\*2</sup>を使う機会が増えてきますが、毎年、6月～8月は、古い扇風機の部品劣化や、エアコンの電源コードの不適切な接続などによる事故が多く発生しています。使用を開始する前に、扇風機やエアコンに異常がないか確認し、事故を未然に防ぎましょう。また、扇風機の事故は3割以上<sup>\*3</sup>が学校や病院等の一般家庭以外の場所で発生しています。公共の場などで共用品として使用する場合等においても注意が必要です。

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報において、扇風機やエアコンの事故が平成23年度～平成27年度の5年間に合計570件<sup>\*4</sup>(扇風機272件、エアコン298件)あります。事故の被害状況を見ると、死亡8件、重傷6件などとなっています。平成27年度においては81件(扇風機18件、エアコン63件)の事故が報告され、70件(86%)が火災に至っています。

### ■扇風機の事故事例と注意事項

- 学校に設置されていた扇風機から出火し、扇風機及び周辺を焼損する火災が発生した。約45年の長期使用により、扇風機の内部配線が繰り返し折り曲げられ、本体台座部分で断線し、スパークが発生し、発火したと考えられる。(平成27年8月新潟県)
- 異音が生じたため確認すると、扇風機及び周辺を焼損する火災が発生していた。約38年の長期使用により、モーターの部品が劣化してスパークが発生し、扇風機と周辺を焼損したと考えられる。(平成25年10月佐賀県)
  - ⇒ コンデンサーやモーターコイル等の電気部品や扇風機的首振り部分は、長期の使用により劣化していきます。動きが悪い・動かなくなった、モーターから異音が生じる、モーターケースが発熱する、焦げ臭いような異臭が生じる等の症状が出た場合は使用を中止してください。なお、古い扇風機は部品の劣化が火災の原因になっていますので、買い替えをお勧めいたします。



(写真) 焼損のイメージ

### ■エアコンの事故事例と注意事項

- エアコンの電源を入れたまま外出中、エアコンが焼損し周辺を汚損する火災が発生した。施工業者がエアコンの電源コードを、途中で別のコードと「ねじり接続<sup>\*5</sup>」しており、接続部分が接触不良で異常発熱し、エアコン及び周辺を焼損したと考えられる。(平成27年7月東京都)
  - ⇒ 電源コードの「ねじり接続」等の改造や、テーブルタップなどを用いた延長接続は絶対にしないでください。本人が行っていても、施工業者等が行っている場合もあります。使用を開始する際はご確認ください。
- 家人不在時にエアコンから発火し周辺を焼損した。エアコン洗浄時に内部のモーターに洗浄液が付着したためトラッキング現象が発生し、発火に至ったと考えられる。(平成27年7月愛知県)
  - ⇒ エアコン洗浄の際には、ファンモーターなどの電気部品に洗浄液がかからないよう十分にご注意ください。ご不明な点がある場合は、製造事業者などの専門知識を有する事業者にご相談ください。





## エアコンの気をつけるポイント①

### ○電源コードを改造、加工、修理しない

電源コードをねじり接続などによって他のコードと途中接続する、断線部分をビニールテープで補修する等、電源コードの改造や修理、接続は行わないでください。

接続不良によって、発煙・発火するおそれがあります。

特に、これらの不適切な施工は、引越等で、それまで使用していたエアコンを別の場所に設置する際に、「電源コードが短い」「長すぎる」等に伴って、行われることがあります。

必ず、電気工事の資格を有した業者にご相談いただき、コンセントの移設等の適切な電気工事を行ってください。



(写真) ねじり接続



(写真) 断線部の補修

### ○電源コードを延長コード、テーブルタップ類と接続しない

エアコンは、延長コードやテーブルタップ等は使用せず、専用のコンセントに直接接続してください。

エアコンは始動時に一時的に大電流が流れるため、テーブルタップや延長コード等を使用すると異常発熱し、発煙・発火するおそれがあります。

## ② エアコン洗浄により洗浄液が機器内部に浸入してトラッキング現象が発生し、発煙・発火

平成 27 年 7 月 23 日（愛知県、30 歳代・男性、拡大被害）

### 【事故の内容】

家人不在時にエアコンから発火し、エアコン及び周辺を焼損する火災が発生した。エアコンには洗浄液の付着が確認された。

### 【事故の原因】

エアコン洗浄液がファンモーターコネクタ一部に付着し、トラッキング現象を起こしたため、発煙・発火に至ったと考えられる。

## エアコンの気をつけるポイント②

### ○エアコン内部の洗浄を行う際は、電気部品に洗浄液がかからないように十分注意する

エアコン洗浄<sup>※9</sup>の際には電源配線、電源基板等やファンモーターなどの電気部品にエアコン洗浄液がかからないよう十分にご注意ください。誤った方法で内部の洗浄を行うと、エアコン洗浄液などが電源配線、電源基板等の電装部品に付着してトラッキング現象を起こし、発煙・発火するおそれがあります。

なお、ご不明な点がある場合は、製造事業者などの専門知識を有する事業者にご相談ください。

(※8) ここでいうエアコン洗浄に、エアコンの「フィルターのほこり取り」は含まない。「フィルターのほこり取り」については取扱説明書に従うこと。